



キャリアーが秘かに出国 韓国患者は国を跨ぐ論争に

風傳媒 www.storm.mg 2015-05-31 09:38

26日に広東省恵州市に侵入した南韓の男は、既に中国初の輸入性患者として確診されている。この男は、韓国でMERS患者と濃厚接触があり、既に発熱症状が出ていたもので、なぜこのように韓国のモニタリング管理下にあったものが中国に入国できたのか？これに関して韓国社会は強烈な注目を集めている。

濃厚接触者がなぜ出国できたのか？

この患者が広東省恵州市で隔離治療された後、南韓メディアは、この男が強硬出国して海外の国家に病気をばら撒いたことは無責任極まりないと批判。男の妻がメディアのインタビューを受けた際に、彼女の夫は仕事が非常に忙しく、無理をして出張に出たのだと説明した。(宮本注：つまり、出国したのは、夫一人であり、妻と一緒に出国したという苹果即時の2015年05月28日13:38情報『【更新】韓国MERS疑い患者は香港経由で中国入り』のこの部分の報道は誤報だったと判明)

韓国保健福祉部のスポークスマンは、5月28日の発表の中で、「初期段階の疫学調査では、この男は濃厚接触者とはされておらず、隔離観察もされていなかったが、韓国側は、同時にこの男が濃厚接触の経過を故意に欺瞞していたことが判り、このような事態を招いてしまった」と認めた。

同スポークスマンは、「初期疫学調査において、この男が5月16日に後日確診されることになった患者の父親を見舞っていたこと、5月19日に同人に発熱症状が現れた後22日に某病院の救急外来で診療を受けた際にも自分がMERS確診患者と濃密接触を持っていたことを医師に対して説明しておらず、且つ同人が確診された患者の家族であることも伏せていた。実際に、この男の父親は20日に韓国第3のMERS患者となっていた」と説明している。

この男は、5月25日に二度目の治療を受けに来た時にも、父親が確診患者であることを認めず、且つ、出張計画を取り消すようにという医師からのアドバイスをも聞き入れなかった。これと同時に、当該医師がこの男にMERS患者との濃厚な接触歴があることが判った25日に即座に関連部門への報告をせず、それによってこの男が出国をした27日になって初めて所在地区の保険部門に報告をすることとなった。このような消極的な対応が、この男をして韓国の貿易部門の管理監督から逃れさせてしまった。

韓国保健福祉部は、今後『協力義務』違反の医師や患者双方に厳罰を科す措置を採ることを決定した。もし、医療スタッフが速やかに情報を上げない場合、或は、患者と濃厚接触のあったものが検査を拒否した場合には200万ウォン(台湾ドルで5.5万元：約25万日元)の罰金が科せられ、もし患者と濃密接触があったものが隔離措置を拒んだ場合には300万ウォン(台湾ドルで8.2万元：約35万日元)の罰金を科せられるというものだ。

韓国社会の見方は？

韓国保健福祉部のスポークスマンは、「これが韓国から輸入性患者が発見されたケースとなり、多くの困難を抱えることとなってしまった。同部門の貿易システムに穴があったこと、全責任は防疫当局にある」と語った。

流行があつという間に蔓延してしまっことは、韓国政府の疫病流行に対する緊急対応力について韓国社会からの指弾を浴びている。5月29日、韓国保健福祉部の文亨杓長官は、政府部門が緊急対策の不十分さについて謝罪した。

韓国『中央日報』は、この華南に赴いた男が確診患者と確診された韓国人の父親を見舞いにいっていたが、隔離対象としておらず、報告義務のある医療スタッフも速やかに疾患の報告を行っていなかったという管理面の抜けが流行の拡散を招いたと評している。これに限らず、韓国保健機構がMERS-CoVの「伝染性は強くない」と言い続けており、正しい対応ができていないことが、関連機構の疾病流行に大きな抜け穴を作ってしまった可能性がある。韓国のネットユーザーからは、「この男が勧告を顧みずに勧告を強硬出国して中国に疾病を持ち込んだことに韓国人として恥ずかしい」との声も出ている。

..... 以下は中国語原文

帶著病毒跩跩走 南韓 MERS-CoV 患者引發跨國爭議

風傳媒 www.storm.mg 2015-05-31 09:38

26 日進入廣東省惠州市的一名南韓男子，已被確診為中國首例輸入性「中東呼吸症候群冠狀病毒」(MERS-CoV) 病例。這位曾在南韓密切接觸 MERS-CoV 患者並已出現發燒症狀者，是怎樣脫離韓方監控入境中國的呢？這一疑問在南韓社會引發強烈關注。

密切接觸者為何能出境？

當這名患者在廣東惠州被隔離治療後，便有南韓媒體指責這一男子強行出國將病情擴散到其他國家極不負責任。男子的妻子在接受媒體採訪時解釋說，她丈夫的工作十分繁忙，是在迫不得已的情況下才出差。

南韓保健福祉部發言人在 5 月 28 日的通報中承認，在初期流行病學調查中並未將該男子列入確診患者的「密切接觸者」並進行隔離觀察。但韓方同時認為，該男子刻意隱瞞「密切接觸」經過，導致事態擴大。

這名發言人解釋說，在初期流行病學調查中，這名男子並未說明其在 5 月 16 日探望過後來被證實患有 MERS-CoV 的父親。他在 5 月 19 日開始發燒後和 22 日在某醫院急診室接受治療時，並未向醫師說明自己曾密切接觸過確診患者，並且是確診患者的家屬。事實上，其父親在 20 日就已被確診為南韓第三例 MERS-CoV 患者。

5 月 25 日這名男子第二次接受治療時，仍然否認其父親為確診患者，而且也未聽從醫師勸其取消出差計畫的建議。與此同時，當事醫師 25 日瞭解到該男子有 MERS-CoV 密切接觸史後也未立即向有關部門報告，一直拖延到該男子出國後的 27 日才向其所在地區保健部門報告。這些消極應對的做法，使得這名男患者擺脫了南韓醫療和防疫部門的監管。

南韓保健福祉部決定今後將對違反「配合義務」的醫患雙方採取嚴厲處罰措施。若醫護人員不及時舉報，或者與病人密切接觸者拒絕接受檢查，可被處以 200 萬韓元（新台幣 5.5 萬元）罰款。如果與病人密切接觸者拒絕自行隔離，可被罰款 300 萬韓元（新台幣 8.2 萬元）。

南韓社會怎麼看？

南韓保健福祉部發言人表示，這是南韓首次發現輸入性 MERS-CoV 病例，因此遇到了許多困難。該部門承認其防疫系統出現漏洞，責任全在防疫當局。

疫情迅速蔓延使南韓政府的疫情應急處置能力備受南韓社會指責。5 月 29 日，南韓保健福祉部長官文亨杓就政府部門未能充分準備好應急對策導致事態擴大公開道歉。

南韓《中央日報》評論說，這名赴華南韓男子曾去醫院探望了身為確診患者的父親，卻未被列入隔離對象，負有報告義務的醫療人員也沒有及時報告疫情，這些管理上的漏洞導致疫情不斷擴散。不僅如此，南韓保健機構一直表示 MERS-CoV 「傳染性不強」，未能切實做好應對，可見相關機構在應對疫情管理方面有很大漏洞。還有南韓網友稱，這名南韓男子不顧勸告，強行出國還將疾病傳染到中國，令南韓人蒙羞。